



河邊貞吉、まひろひの実

◆ジョン・ウエスレーに学ぶ会
日本フリー・メソジスト教団
岸之里キリスト教会牧師

畑野順一

その時（一九三二年）、河邊貞吉は天を仰いで祈りました。一年以上にわたる話し合いがあったのに、結局教会裁判という手段で決着を付けなければならなくなったのでした。

争点は、当時の日曜世界社が出版した「旧約聖書註解・創世記上」にありました。その内容が、「高等批判の聖書観」に立ち、フリーメソジストの教義および条例に反するとの告発を受け、著者馬場嘉市と出版者西阪保治が被告人とされました（両者とも、フリーメソジストの教職で河邊の愛弟子でした）。内容に対する根本的な見解の相違と誤解があり、結局、賛成多数で除名となりました。

ちょうどこの頃、東京聖書学院で着火したリバイバル運動が全国のホーリネスの諸教会に飛び火し、リバイバル大会が盛んに開かれました。

この事件についても後日、「われらは、…教会裁判において、高等批判の異分子をわれらの群れから除去して…。この純福音の勝利も、確かにリバイバルの火の証しである」と報告されました。

長い間、河邊にとってこの問題は大きな重荷となりました。北米西海岸のリバイバルできよめの恵みにあずかり、日本の一漁村で地を這うような伝道の中にもリバイバルによって多くの収穫が与えられた河邊にとって、リバイバル運動の中の裁判は「断腸の思い」と述べています。

しかし、河邊は祈りによって、次のような確信も与えられました。

「ある人々は、リバイバルの現象を見て、自分の信仰にはあわないと嫌う。またある人は、これは一時的な感情の高ぶりであると軽蔑する。

また別な人は、つまずいたと吐き捨てる。そこで、思い出すのはペテロとトマス性格の相違です。ペテロは感情の燃えやすい弟子であり、トマスは極めて合理的な弟子であった。しかし、あのペンテコステに降った聖霊の火は、二つの性格を溶かし、伝道へと完全な一致に導いた。火は相違を一致させるというのではなく、融合させるのである（使徒二・4）。

聖霊によるリバイバルは人の思いをはるかに越える。徹底した悔い改めが、真のリバイバルを起こさせ、相違を認め融合させる、信仰のもう一つの実を結びせると確信したのである。事実、後年の河邊の日記に「長年の信仰の友」として馬場嘉市夫妻、西阪保治夫妻の名前が挙げられています。ここに数々のリバイバルの焔をくぐった河邊の信仰が見られます。



この時代に生き、この時代に仕えるために

第十五回関東聖化大会実行委員長

チャーチ・オブ・ゴッド瀬谷グレース・チャペル牧師

伊藤 昭吉

第十五回関東聖化大会に同信の先生方、主にある兄弟姉妹方をお招きできることを嬉しく存じております。二〇世紀最後の、そして二一世紀に橋渡しとなるにふさわしい聖化大会になると確信しております。

代に対する認識と共にその時代に応える奉仕です。この二つを遂行するためににはホーリネスの恵みに立ち、ホーリネスに生かされてこそ果たし得るとというのが私たちの確信です。

日々の視点からホーリネスを問いつつ、現代に通用するホーリネスの再構築を願っています。大いに期待できることでしょう。毎年、回を重ねることに祝福されている女性大会でもデュエル博士

会場は昨年に続いて淀橋教会で開催されます。キャパシティにおいても、設備の点でもすぐれて立派な教会堂です。このような素晴らしい会堂でホーリネスの恵みゆたかなメッセージに心と耳を傾けることが出来る幸いを感謝しております。

今回の主講師ウエスレー・L・デュエル博士は東洋宣教会(OMS)の元総理をされ、日本にも何度か来られてホーリネスの指導をされた神の器です。このたび、福音文書刊行会(EPA)から博士の著述である「全き救いへの道」が出版されました。博士のメッセージが著書とともによりリアルに迫ってくるものと期待しております。

第十五回目の聖化大会を迎えることができ心から感謝しております。この働きのために忠実に祈り、献げ、そして出席をもつて支えてくださった諸先生方をはじめ主にある愛兄弟の熱い信仰のゆえに感謝しております。なにとぞ今聖化大会に一人でも

「ダビデは、その生きていた時代において、神のみこころに仕えて」(使徒十三章三六節)と記されておりますが、今日、キリスト者が求められているのは、生かされている時

今大会の邦人講師には、イムマヌエル総合伝道団の総理であられる河村襄先生をお迎えしております。河村先生には「これからのホーリネス」と題してご講演をして頂きます。今

多くの先生方、兄弟の皆様方がご出席されて「この時代に生き、この時代に仕える」者となられるようにお祈りしております。

主 講 師 新 刊 書 籍 の 紹 介

ウエスレー神学入門
全き救いへの道
 W・L・デュエル 著
 石井実雄 訳

GOD'S GREAT SALVATION
 by Wesley L. Duwel

愛する日本の皆さま、このたび「God's Great Salvation」が日本語で出版されることを聞き、とてもうれしく思っています。「全き救いへの道」を通して、神さまの祝福が皆さまの上に豊かに注がれますよう祈っています。本書は、罪と救いの教理を聖書のテキストを基礎に、わかりやすくかつ論理的に述べたものです。神さまの導きのもとに十分な理解が与えられ、救いのご計画を祝福のうちに体験されますよう祈っています。

私は、理論を強調することをできるだけ避けたつもりです。その代わり、聖書を学ぶすべてのクリスチャンにとって完全に聖書的であること、実際的であること、分かりやすいことを求めました。私は七十年間、ウエスレアン・ホーリネスの中で生まれ育ちました。その私にとってとても重要な問いは、いつも、「これは聖書的だろうか」ということでした。この本が読みやすいものとなり、くり返し参考にされるようにと祈っています。

(「日本語版への序文」、「はしがき」より抜粋)

「聖潔の恵みの豊かさ」

ウエスレアン・ホーリネス教会連合 山形南部教会牧師
山形聖化交友会事務局 岡 撰也

皆様の熱い祈りと尊いお支えにより、山形聖化交友会も五年目を迎えました。心から感謝申し上げます。

この五年間を振り返ると、聖潔の恵みの豊かさへ導かれた年月であったことを思われます。

パウロが「また、あなたがたがすべて聖なる者たちと共に、キリストの愛の広さ、長さ、高さ、深さがどれほどであるかを理解し、」(エペソ三・18)と祈っていますが、まさに主が聖化交友会を通して、人知をほるかに越えた恵みの豊かさへと導いてくださっています。

(一) 聖潔の恵みの高さ
山形聖化交友会ではまず、聖会前に、各教会の青年を中心に賛美の集いが持たれます。そこで霊性が整えられ、御言葉を聞く備えがなされます。

そして、説教者の御言葉に裏打ちされたメッセージにより、恵みの高き嶺を示され、私たちの信仰が引き上げられていきます。主は毎年、時に適った素晴らしい聖潔の説教者を与えてくださいました。

また、これまで集会毎に教職者による聖潔の証しがなされ、生きた聖潔の恵みを聞くことが出来た事も大きな恵みの一つです。

(二) 聖潔の恵みの深さ
毎年一回山形聖化大会を行うために、委員会が準備させていただいています。

最初の三年間は委員会を開き、話し合いが持たれましたが「祈ること」が最大の準備と導かれ、四年目からは準備委員会が準備祈祷会に変更され熱心な祈りが献げられるようになりました。その祈りによって恵ま

れ、聖潔の恵みの深さへと導かれていきます。

(三) 聖潔の恵みの広さ
山形県全土を聖潔の恵みて満たしてくださうという祈りによって山形聖化交友会がスタートしました。私たちの心からの願いは山形県の聖潔派の全教会が集うことです。

現在、基督兄弟団米沢教会を会場に行われています。米沢は地理的には山形県の南部であり、福島県からもあまり遠くない距離にあります。福島県からの諸教会の方々も参加いただきたいと祈り始めました。

今年、九月二十三日にフリーメソジストの野田秀先生をお招きして聖化大会が行われます。聖化大会が祝福され、ますます「キリストの愛の広さ、長さ、高さ、深さ」に導か

第12回宮城聖化交友会 仙台大会

- ▼日時 2000年9月23日(土)
 - ・午前10時半～正午
 - ・午後1時半～3時
- ▼講師 後藤英夫師
(日本ナザレン教団・旭川教会)
- ▼会場 C・Bクリスチャン・センター

第5回山形聖化大会

- ▼日時 2000年9月23日(土)
 - ・午前10時～午後4時
- ▼講師 野田 秀師
(東京フリーメソジスト教会・桜ヶ丘教会)
- ▼会場 基督兄弟団・米沢教会

今、伝道者の聖化が切実に…



小西直也

北本福音キリスト教会牧師
関東聖化大会・通訳者

私は、この夏、ピリー・グラハム主催によるアムステルダム世界伝道者会議に出席する恵みに与りました。二十一世紀を迎える伝道者に何が求められているかを問う会議でした。毎日、違ったテーマに従って全体講演、地域別セミナー、分科会などのプログラムが九日間続き、世界各地の伝道者がそれぞれのテーマに従ってメッセージを語りました。前半は神学的なテーマ、後半は実際のテーマと分けられていましたが、私自身が感じた今回の会議全体の強調点は、聖書に基づいて十字架の福音をまっすぐに語ることに、伝道者自身の聖められた生活の二点でした。特に、伝道者の聖い生活の重要性が繰り返し訴えられていたことが印象的で、そのことから、今、伝道者の聖化が切実に求められていることを強く感じました。

ピリー・グラハムの娘であるアン・グラハム・ロツツ夫人は「聖書」という主題の日の全体講演で、イザヤ書六章から、イザヤが良い説教者から偉大な説教者になつたというメッセージを語りました。激動の時代を生きたイザヤは、当時の世界が直面していた問題の本質が罪であることを見抜いて神の言葉以外に解決の道はないと大胆に語る良い説教者でした。しかしウジヤ王の死に直面したときに彼の霊の目が開かれ、彼は神の圧倒的な聖さと自分自身の汚れを知りました。この幻を通して聖めを体験したイザヤのメッセージは変わりました。それまで「主はこう仰せられる」と言っていたイザヤは「主は私に仰せられた」と言うようになります。彼は神との個人的な交わりの中で自分が個人的に受け取った御言葉を語る預言者、偉大な説教者へと変えられました。

非常な速さで変化する今の時代、伝道者に求められるものは数多く、新しい対応や方策を考えることも必要です。しかし、今回の会議を通して、私は何よりも必要なことはイザヤの体験であると再確認しました。私も、常に神と一つとなって聖い歩みをしつつ、イザヤのように「主は私に仰せられた」と福音を語り続けたいと思います。

総務レポート

▼聖化第29号をお届けします。全国各地での聖化大会の祝福をお祈り致します。尚、来年度の聖化大会主講師として、ロバート・コールマン博士（トリーニティー神学校教授・宣教学部長）が決定致しました。乞ご期待！（係）

●ジョン・ウェスレーに学ぶ会 第39回公開講座聖会

- ▼日時 10月20日(金)
- ▼講師 ウェスレー・デュウエル博士
- ▼会場 ナザレン大阪桃谷教会

●第15回関東聖化大会

- ▼日時 2000年10月16日(月)ー17日(火)
- ▼講師 ウェスレー・デュウエル博士
- ▼会場 淀橋教会

●第11回九州聖化大会

- ▼日時 10月23日(月) 午後2時と午後7時
- ▼講師 ウェスレー・デュウエル博士
- ▼会場 福岡キリスト教会館

●第13回東海聖化大会

- ▼日時 10月19日(木)
- ▼講師 ウェスレー・デュウエル博士
- ▼会場 福音センター
(イムヌエル名古屋教会)